

歴史ある若い会社、
ジェイテクト。

No.1 & Only One

JTEKT

自動車部品・ペアリング・工作機械の、ジェイテクト。

株式会社 ジェイテクト

会社説明会

代表取締役社長 安形 哲夫

2017年 12月 2日

1. ジェイテクトのご紹介

2. 各事業の成長戦略

3. 企業価値向上に向けた取り組み

4. 株主還元方針

■ ジェイテクトの歴史

歴史と伝統ある2社が2006年に合併しジェイテクトが誕生、昨年1月には10周年を迎えました。

1921年
光洋精工創業



池田 善一郎

1920

1943年
鉄鋼圧延機用軸受
生産開始



1988年
電動パワーステアリング
世界初の開発・量産



2006年

JTEKT

誕生

2016年

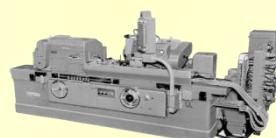


1941年
豊田工機設立



豊田 喜一郎

1965年
TOYODA
研削盤を開発



1998年
ITCC
生産開始



TOYODA

※ITCCは当社の登録商標です。

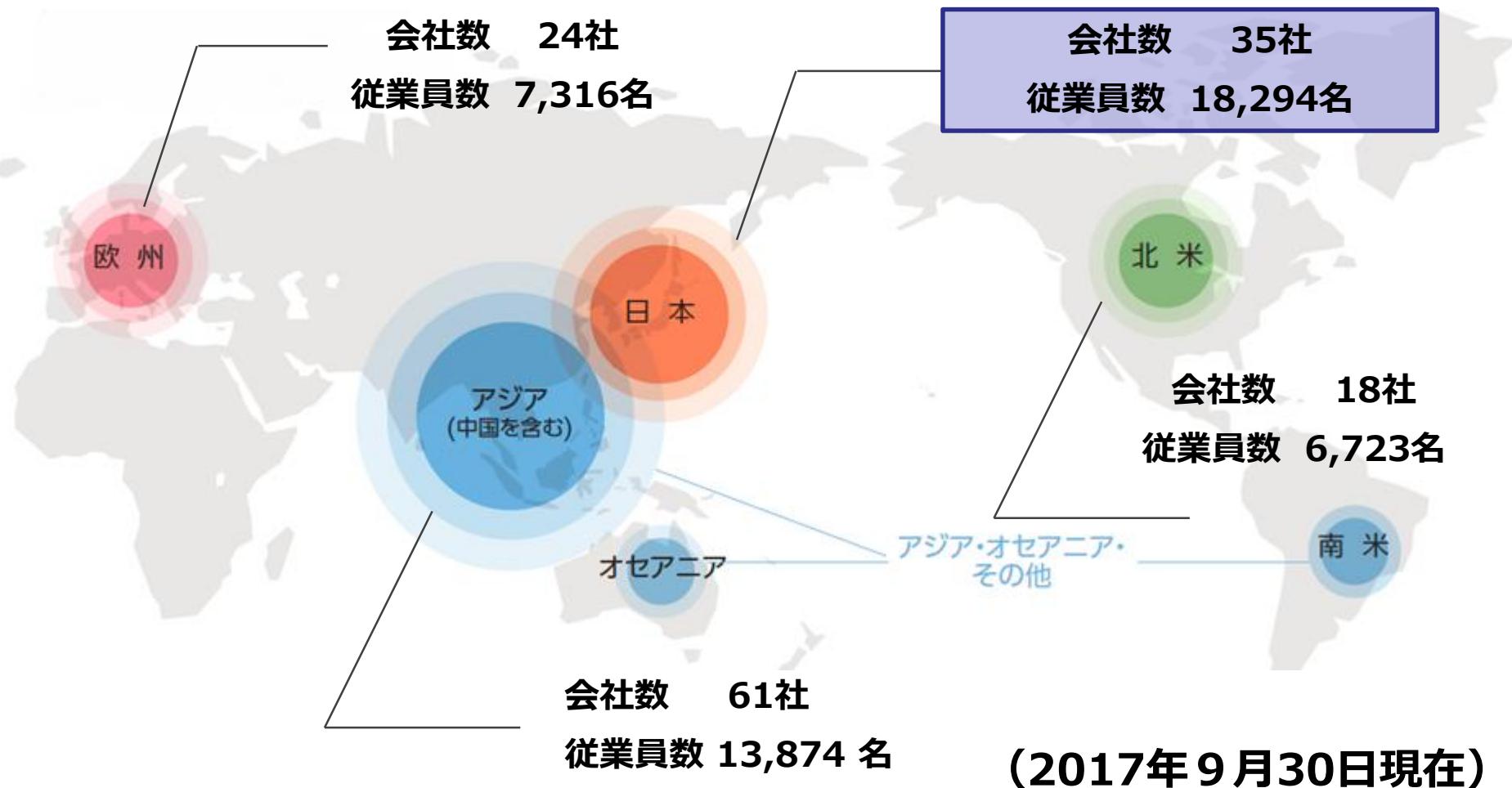
GROUP VISION

No.1 & Only One

—より良い未来に向かって—

■ グローバルな事業展開

世界 28ヶ国 1地域に事業展開
(会社数: 138社 従業員数: 46,207名)



■ 3ブランドと4事業

ステアリング



軸受(ベアリング)



駆動系部品



工作機械・メカトロ

円高の影響により減収・減益も、利益率は維持・改善

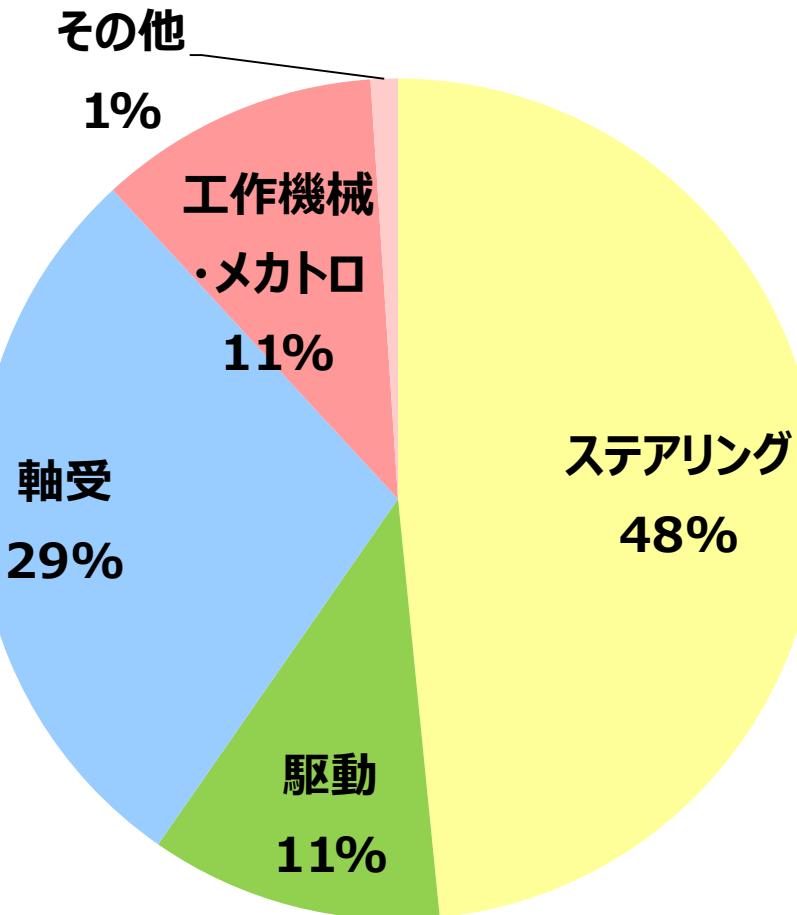
	16/3期	17/3期	増減額	増減率
売上高	13,999	13,183	△ 816	△ 5.8%
営業利益	(5.9%) 819	(5.9%) 774	△ 44	△ 5.5%
経常利益	(5.8%) 812	(5.9%) 780	△ 31	△ 3.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	(3.5%) 486	(3.6%) 475	△ 11	△ 2.4%
為替レート (4月～3月)	120円/USD 133円/EUR	108円/USD 119円/EUR	12円 円高 14円 円高	

()は、売上高利益率

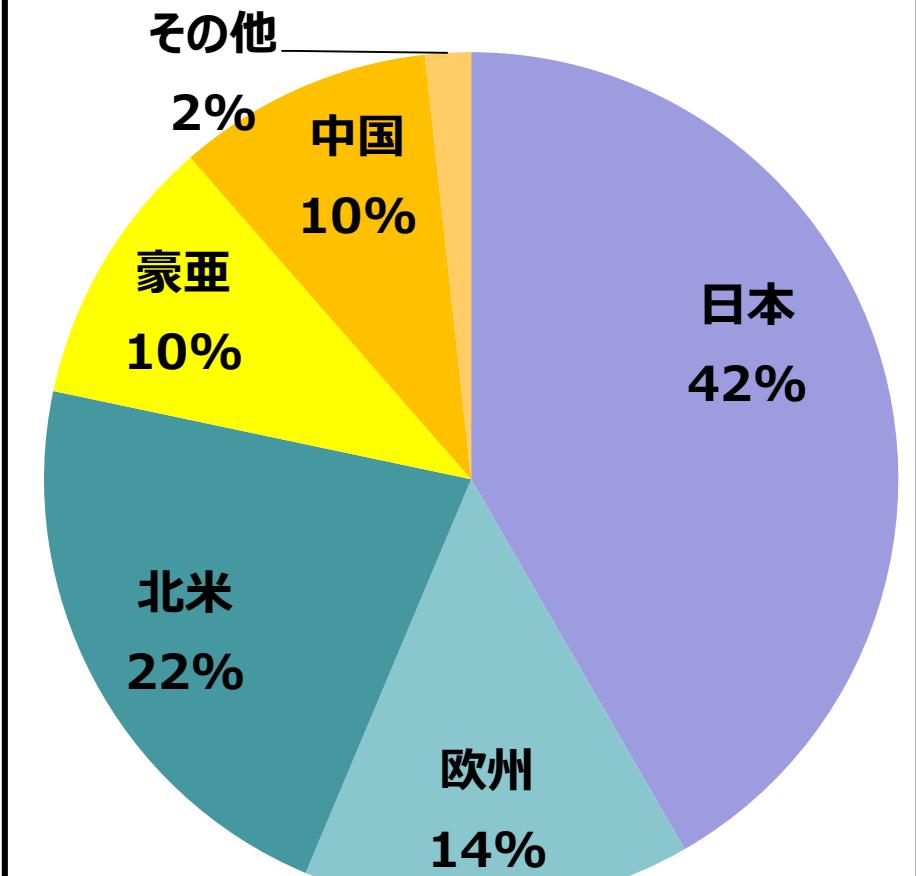
	16/3期	17/3期	増減額
配当金	中間	21円	—
	期末	21円	—

■ 2016年度 売上高の内訳

事業別



地域別



為替やM&Aの効果により増収となるも、
研究・開発費の増加等により、営業利益は前期並みの見込み

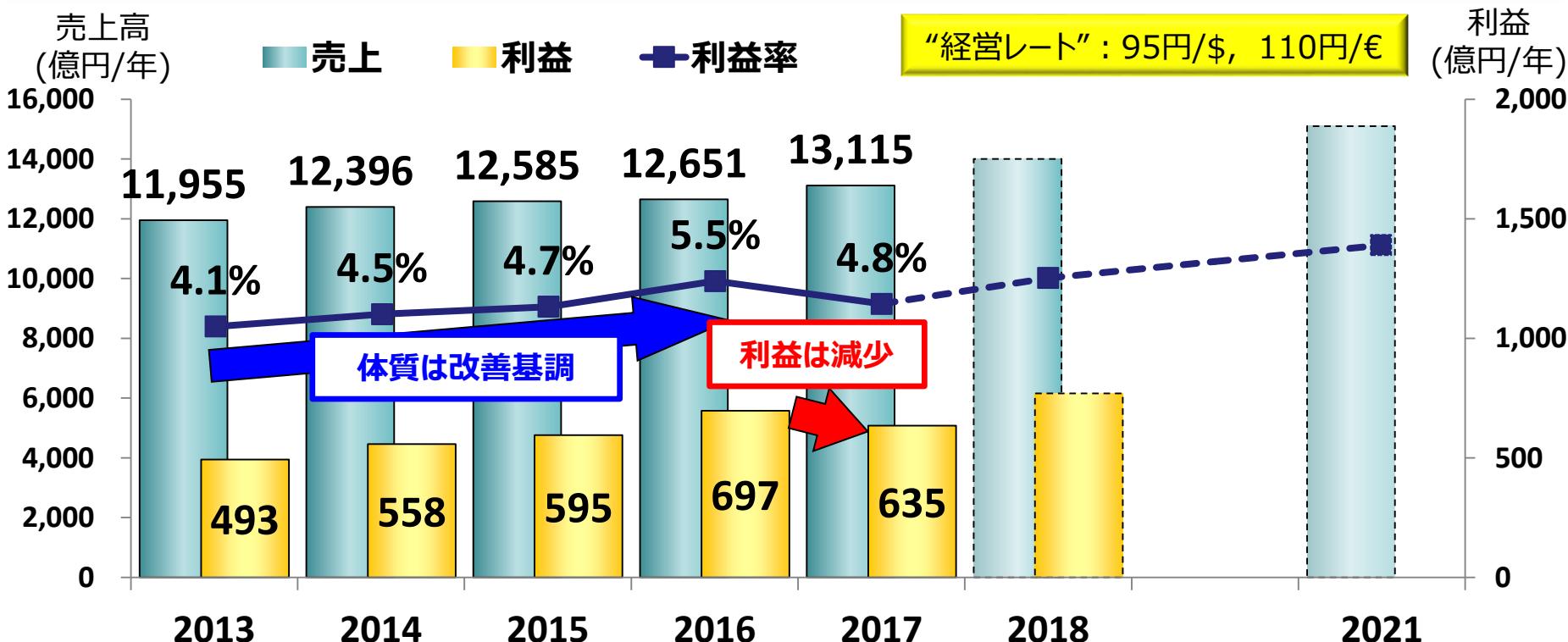
(億円)

	17/3期 通期(実績)	18/3期(予想)			増 減 額	増 減 率	18/3期 (期初)
		上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)			
売 上 高	13,183	6,822	7,177	14,000	+ 816	+ 6.2%	13,000
営 業 利 益	(5.9%) 774	(5.2%) 352	(6.0%) 427	(5.6%) 780	+ 5	+ 0.7%	680
経 常 利 益	(5.9%) 780	(5.6%) 379	(5.7%) 410	(5.6%) 790	+ 9	+ 1.2%	680
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	(3.6%) 475	(4.2%) 286	(4.4%) 313	(4.3%) 600	+ 124	+ 26.3%	420
為 替 レ ー ト (4 月 ~ 3 月)	108円/USD 119円/EUR	111円/USD 126円/EUR	110円/USD 130円/EUR	111円/USD 128円/EUR	3円 円安 9円 円安		105円/USD 115円/EUR
設 備 投 資 額	664	375	375	750	+ 85	+ 12.9%	800
減 価 償 却 費	560	276	314	590	+ 29	+ 5.2%	570
配 当 金	42円	21円	21円	42円	—		42円

() は、売上高利益率

■ 為替の影響を除いた売上・利益推移

- 為替の影響を除く評価では、16年度まで着実に体质は改善も、17年度は、①北米下流EPS立ち上げ準備、②ADAS・IoE等の将来への”弾込め”費用増等により、減益の見込み
- 下流EPS事業の安定・将来投資のリターン回収により、18年度は16年度レベルの利益率に戻し、再び成長路線へ



1. ジエイテクトのご紹介

2. 各事業の成長戦略

3. 企業価値向上に向けた取り組み

4. 株主還元方針

JTEKT

ステアリング 事業



■ステアリング事業の商品

主な商品

ステアリング(STG)

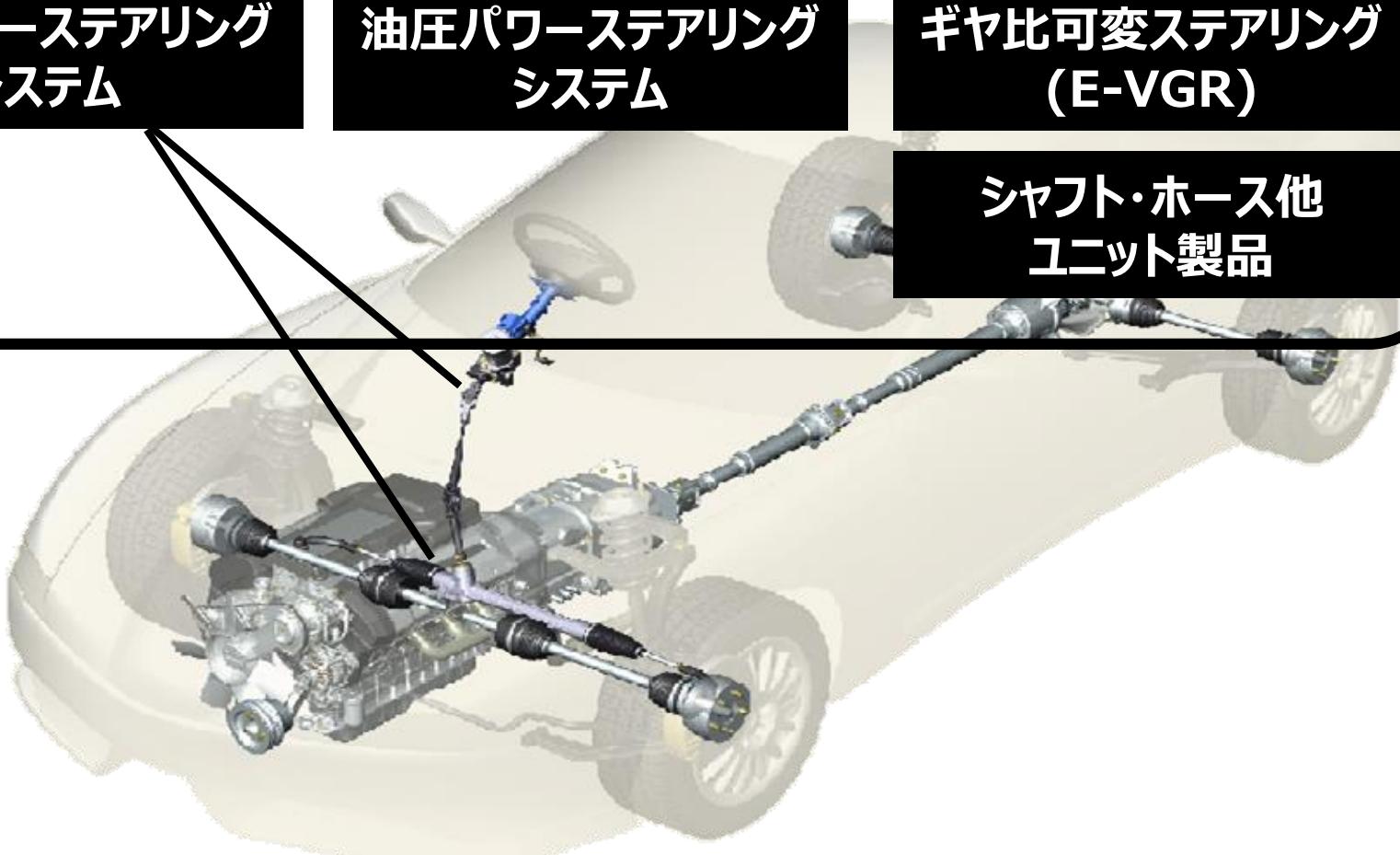
電動パワーステアリング
システム

No1

油圧パワーステアリング
システム

ギヤ比可変ステアリング
(E-VGR)

シャフト・ホース他
ユニット製品



■ 他社とのEPSラインアップ比較

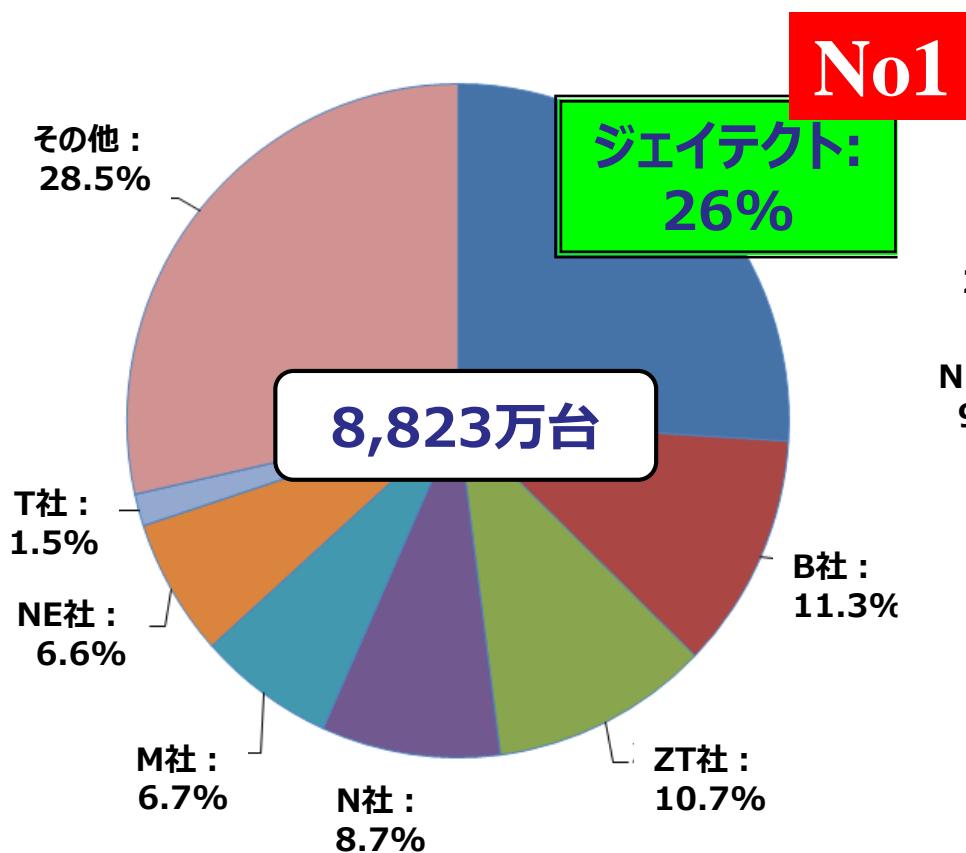
	ステアリング製品 (○ : 生産中 × : 生産なし)							
	C-EPS	P-EPS	RD-EPS	RP-EPS	DP-EPS	E-VGR	H-EPS (パワーパック)	油圧PS
ジェイテクト	○	○	○	○	○	○	○	○
N社	○	○	×	×	×	×	×	×
Z社	○	×	×	○	×	×	○	○
N.E.社	○	○	×	○	×	×	×	○
B社	○	×	×	○	○	○	×	○
S社	×	○	○	×	×	×	×	○
K社	×	○	×	×	○	×	×	○
M社	○	×	×	○	×	×	×	○
H社	×	○	×	×	×	×	×	○

ジェイテクトのステアリング製品はあらゆるシステムに対応

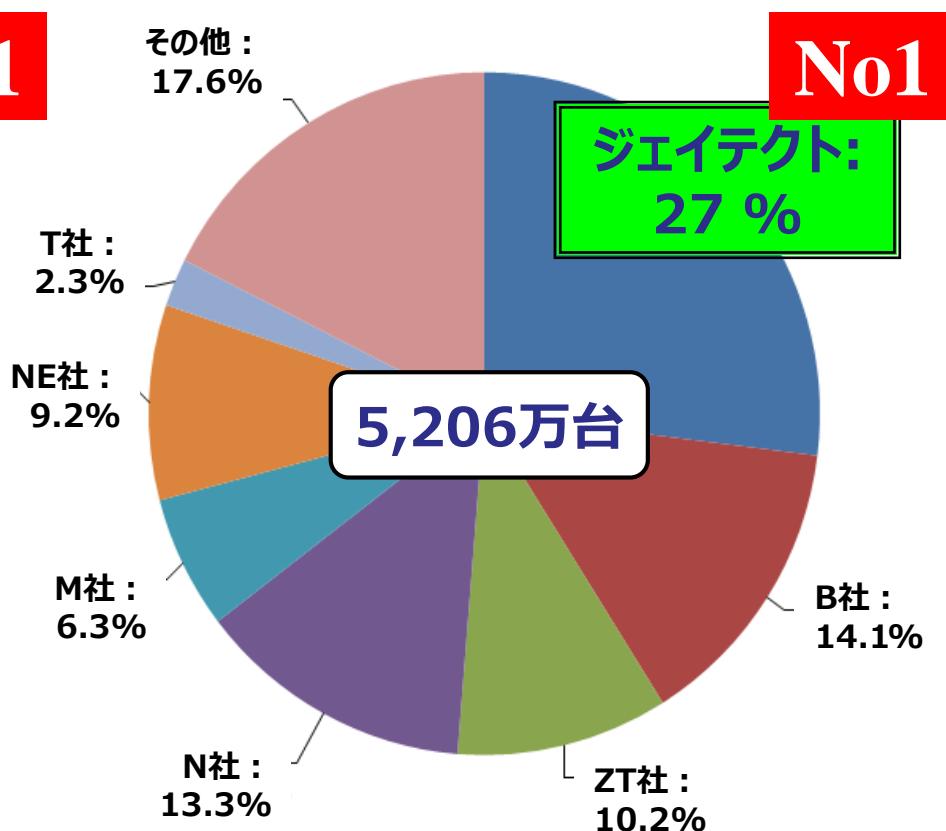
■ステアリング製品のグローバルシェア・EPSシェア

グローバルシェア：約26%、電動パワステ(EPS)では約27%

<2016年 グローバルシェア>

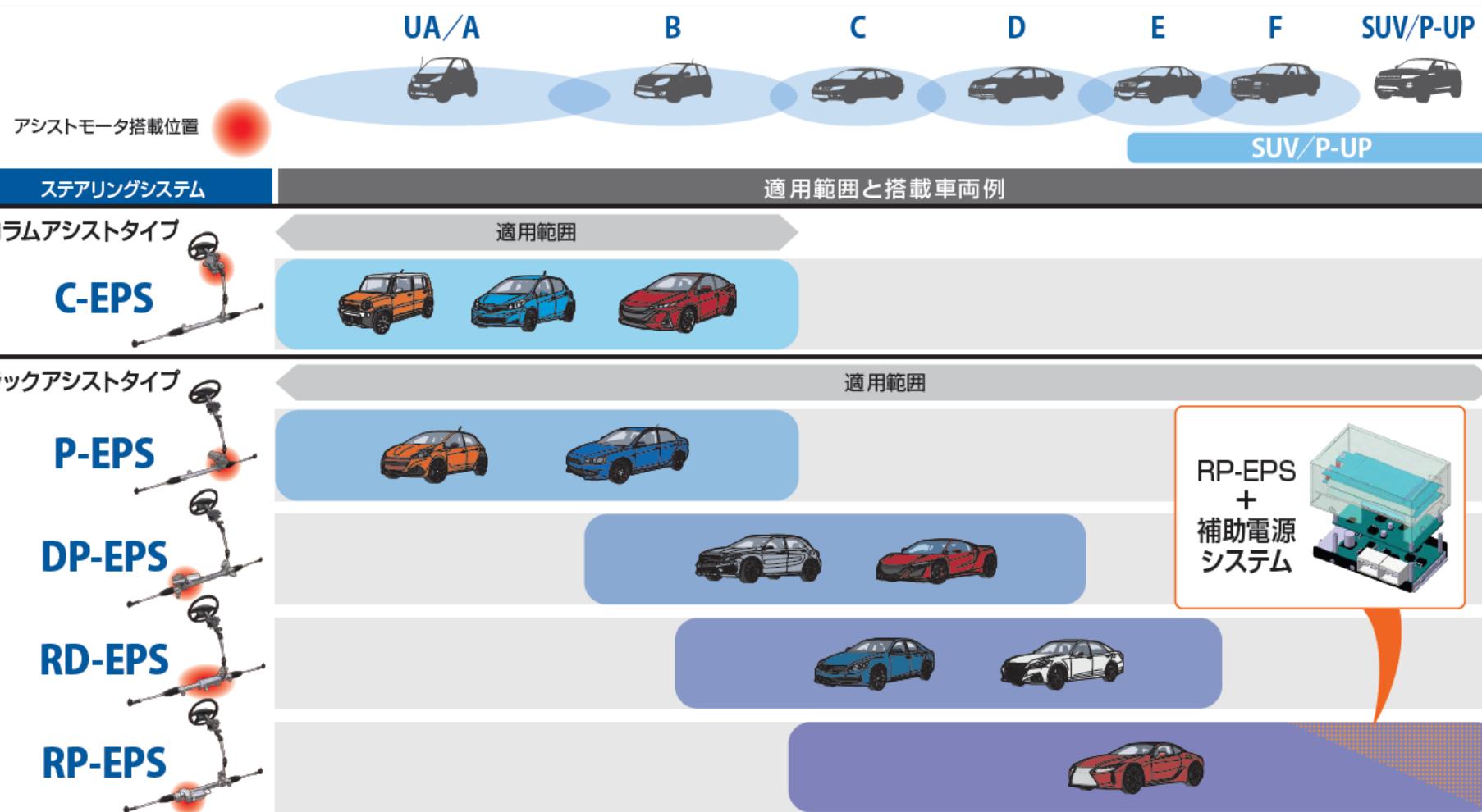


<2016年 EPSシェア>



※市場データに基づき当社独自調べ

■車両セグメントに適したEPSを提案



■車両に応じた自動運転対応技術の開発

自動運転のニーズは乗用車のみならず、
大型乗用車や大型輸送車へも拡大。

→ 車両サイズに合わせ自動運転対応製品の開発を推進



普通乗用車



大型乗用車・ピックアップトラック



大型輸送車 バス・トラック

自動運転と手動運転を
スムーズに切り替え、
人とクルマが調和する
技術の開発を推進

補助電源装置(自社製)を搭載、
大型乗用車のEPS化を実現
環境性向上と自動運転に貢献

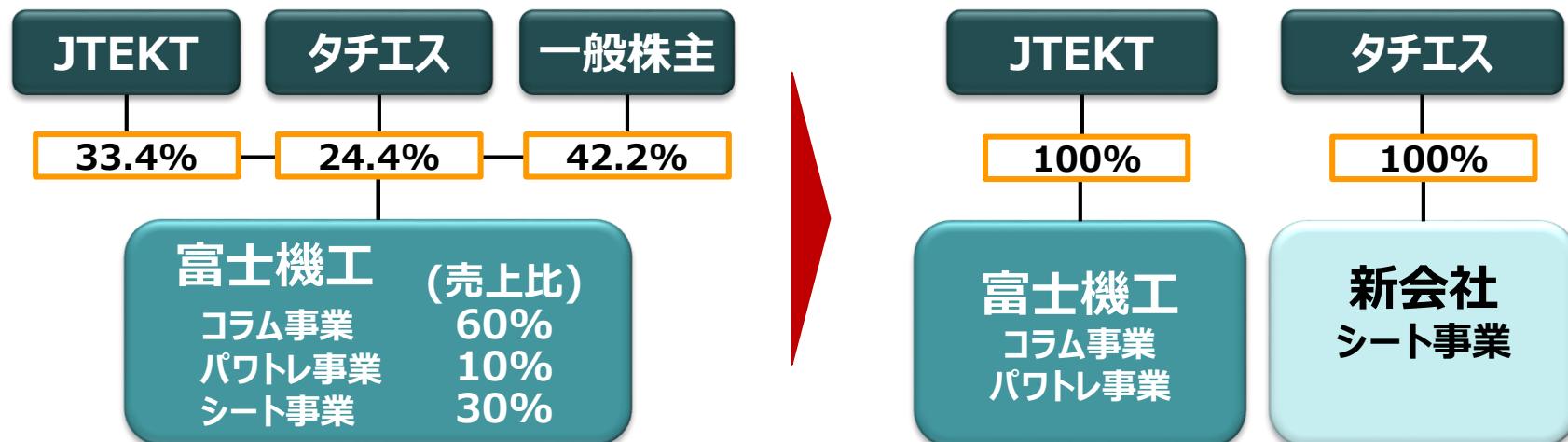
モーターと油圧とを組み合わせ、
大型輸送車に適した
ステアリングシステムを開発。
バス・トラックの自動運転化
ニーズに対応

■ ステアリングコラム事業の強化

スキーム

TOB応募受付中(～12月14日)

富士機工(株)のコラム事業とジェイテクトのC-EPSおよびマニュアルコラム事業の一本化により 当社主導によるステアリングシステム基盤をさらに強化



ねらい

- ・STGシステム提案力の強化
- ・ステアリングシェア コラム含めた世界トップシェア維持

- 1) システム対応力強化
- 2) 開発体制の効率化と先端技術の開発強化
- 3) マーケティング活動、顧客基盤の強化・拡大



■ インドでの事業強化

スキーム

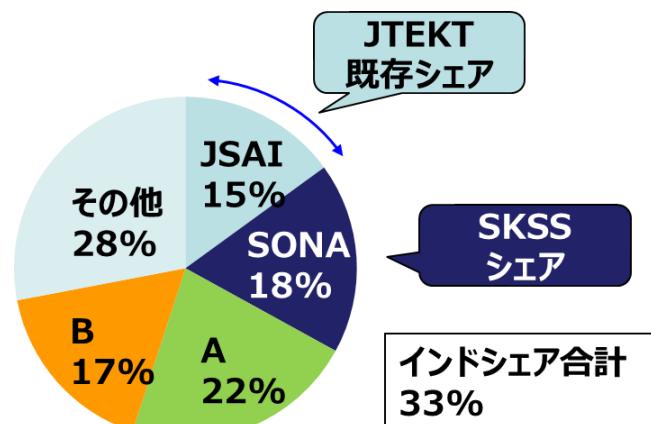
今後成長が予想されるインド市場でリーディングポジションを確立すべく、
SONA KOYO社(SKSSL)の実質経営権を取得



*Sona Autocomp Holding Limited

ねらい

JTEKTインド事業全体のシナジー効果を創出、ステアリングのみならず
インドの全事業についてプレゼンスを向上させる

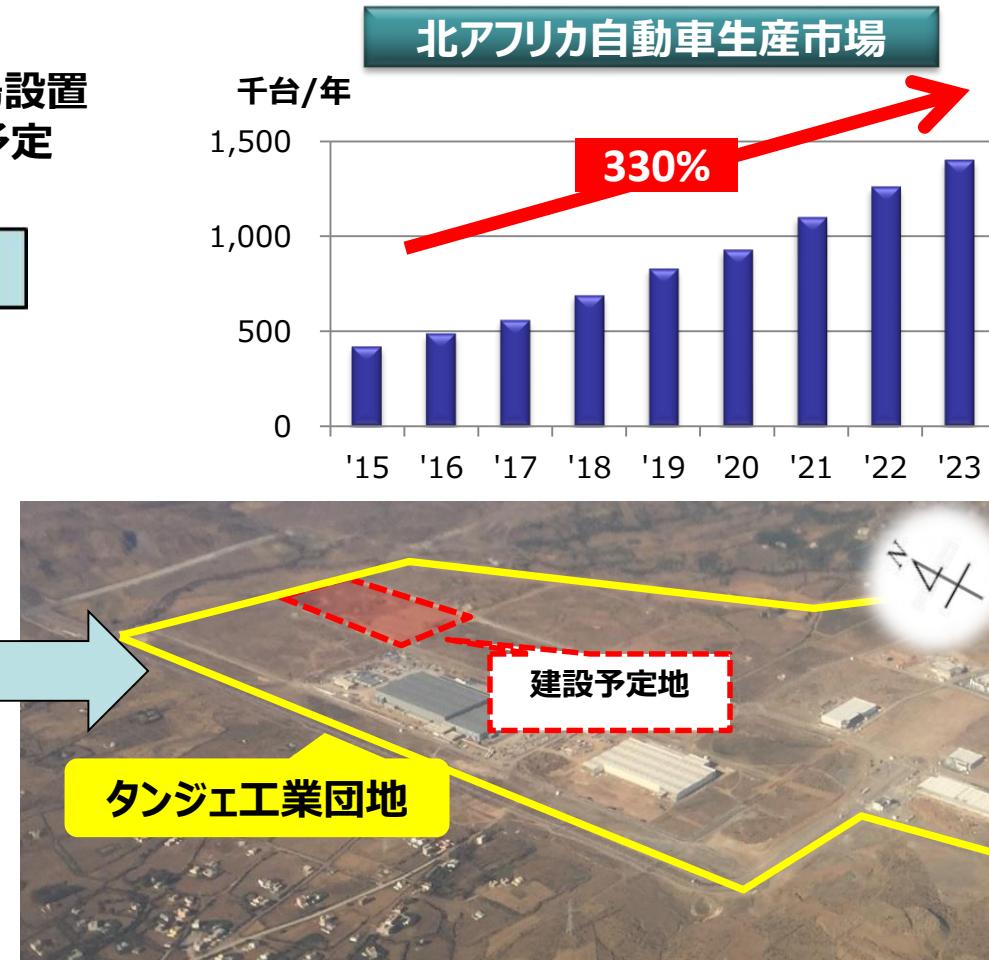
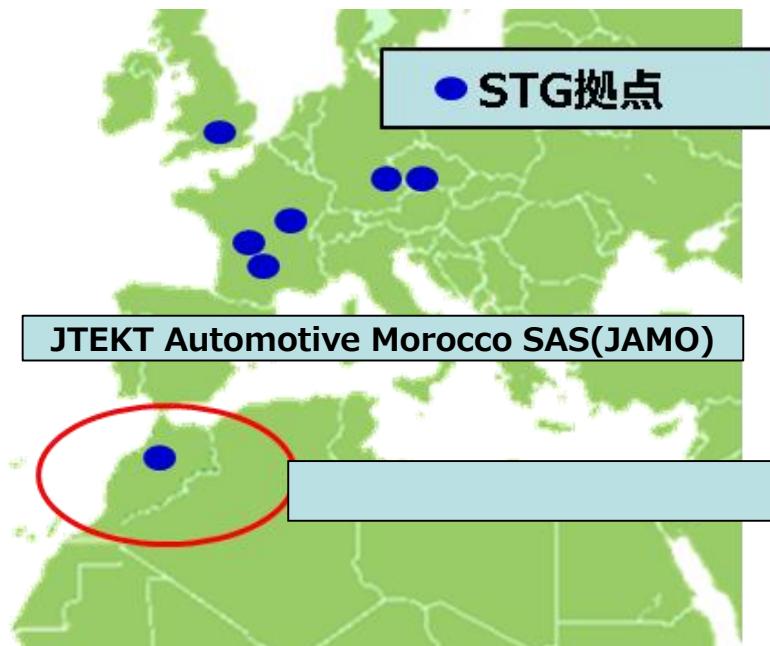


■ モロッコ王国での事業展開

事業展開のねらい

欧州顧客の期待(現地生産)に応え、顧客内でのプレゼンスを維持・向上させ、安定的な欧州事業の成長を図る

モロッコ王国 タンジエー市工業団地に工場設置
(2019年)、生産開始は2020年を予定



■電子技術開発力強化～IT開発センター秋田

ステアリングを取り巻く環境

高出力EPS対応

ADAS対応

SBW対応

内製MCU開発

自動運転支援

ステア・バイ・ワイヤ

次世代ステアリング開発力強化を狙いとして秋田に開発センターを設立。
優秀な人材確保により 電子技術力を強化

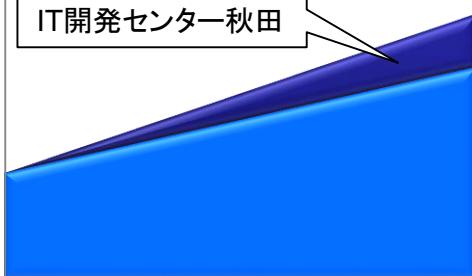
電子技術リソース

開発人員

開発領域

SWの上流開発を新会社で推進

ジェイテクト
IT開発センター秋田



現在 → 将来

SW要求分析

アーキテクチャ
設計

SWテスト

統合テスト

ユニット設計

ユニットテスト

コーディング



株式会社 ジェイテクトIT
開発センター秋田

JTEKT

駆動事業

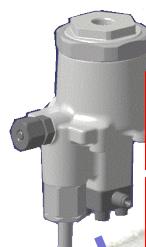
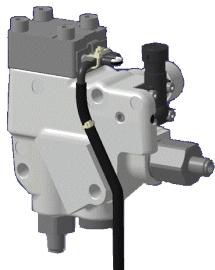


■ 駆動事業の商品

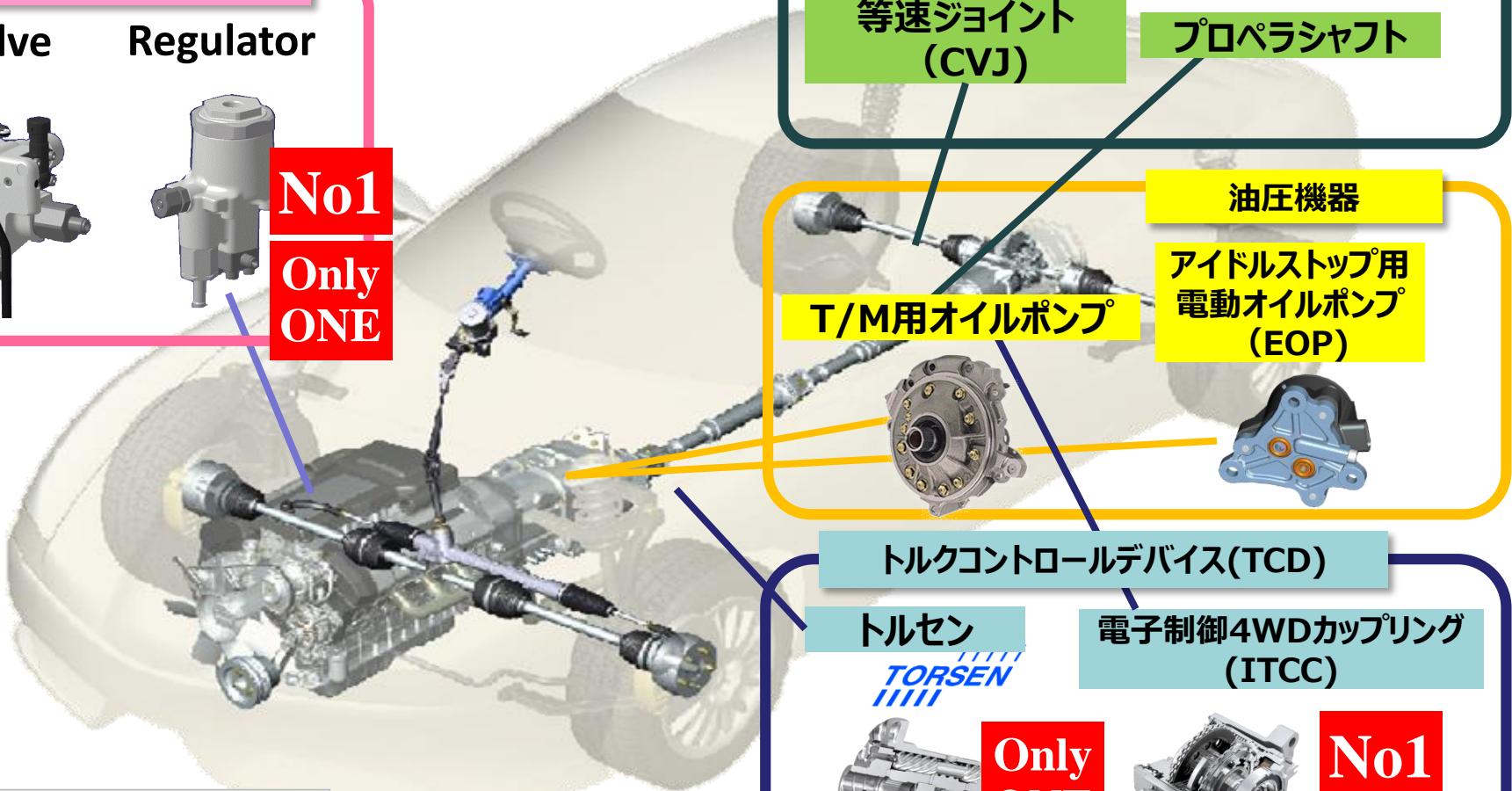
主な商品

燃料電池車用バルブ機器

Valve Regulator



No1
Only
ONE



※トルセンは当社の登録商標です。

※ITCCは当社の登録商標です。



Only
ONE

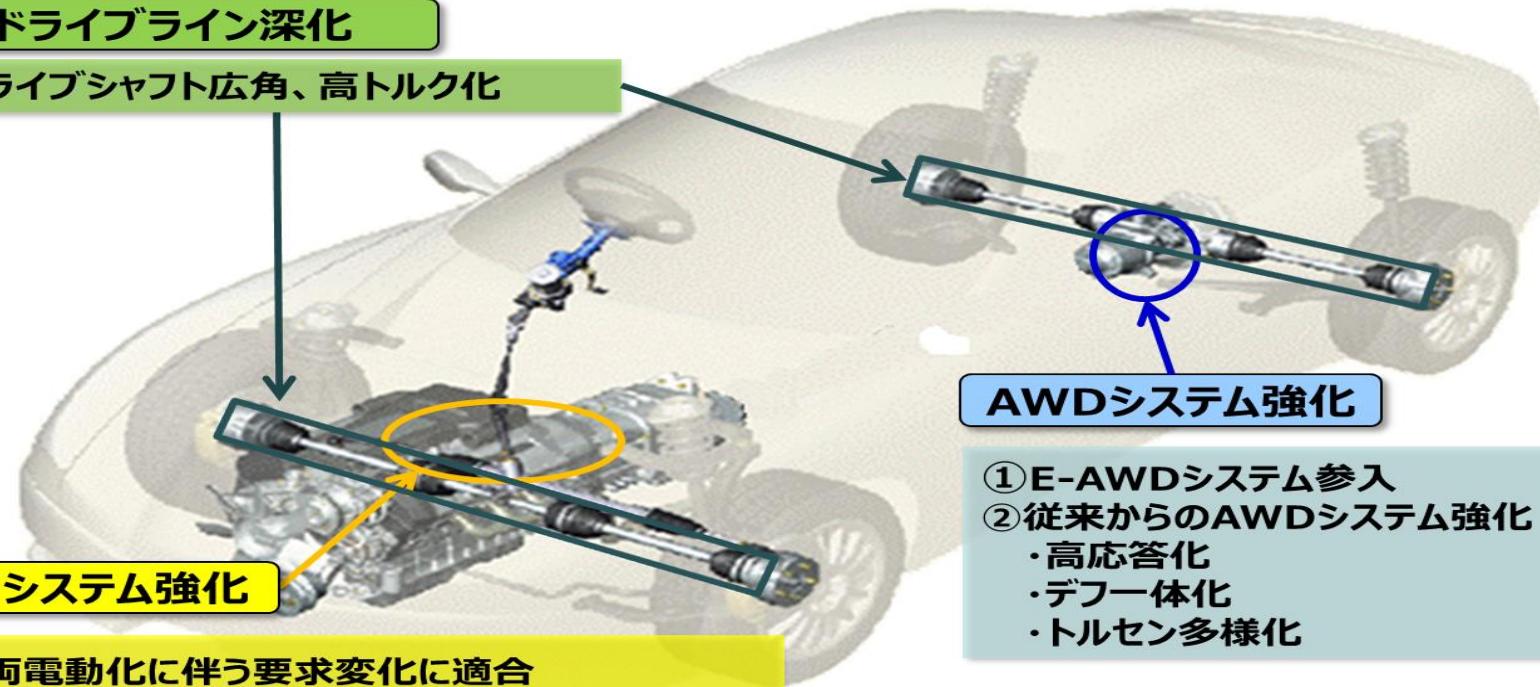


No1

車両電動化に適合したユニット開発力を強化。システム開発力を向上させることで各ユニットの最適化による客先提案力向上と拡販を強化

ドライブライン深化

ドライブシャフト広角、高トルク化



油圧システム強化

- ①車両電動化に伴う要求変化に適合
- ②アクチュエーション領域の用途拡大
AMT クラッチ電動油圧、フリーラン用

AWDシステム強化

- ①E-AWDシステム参入
- ②従来からのAWDシステム強化
 - ・高応答化
 - ・デフ一体化
 - ・トルセン多様化

駆動システムサプライヤーとしての提案力向上

- ①次世代モデル開発加速
- ②モデルベース開発とスピードアップ
- ③ユニットそのものの商品力強化

2016年：駆動事業本部発足

2017年：駆動システム開発／駆動電子技術開発 専任組織化

Koyo Key of your operation

軸受事業



■ 軸受（ベアリング）のご紹介

軸受（ベアリング）とは？

- ・軸受は、あらゆる機械の回転部分に使用され、摩擦抵抗を軽減する役割を担っています。軸受なしではどんな機械をも動かすことはできないため「産業のコメ」とも呼ばれます。

主な商品

自動車用軸受

軽量・低トルクハブユニット



No1
(LFT)



鉄鋼用軸受

No1
(国内)



工作機械用軸受

風力発電機用軸受

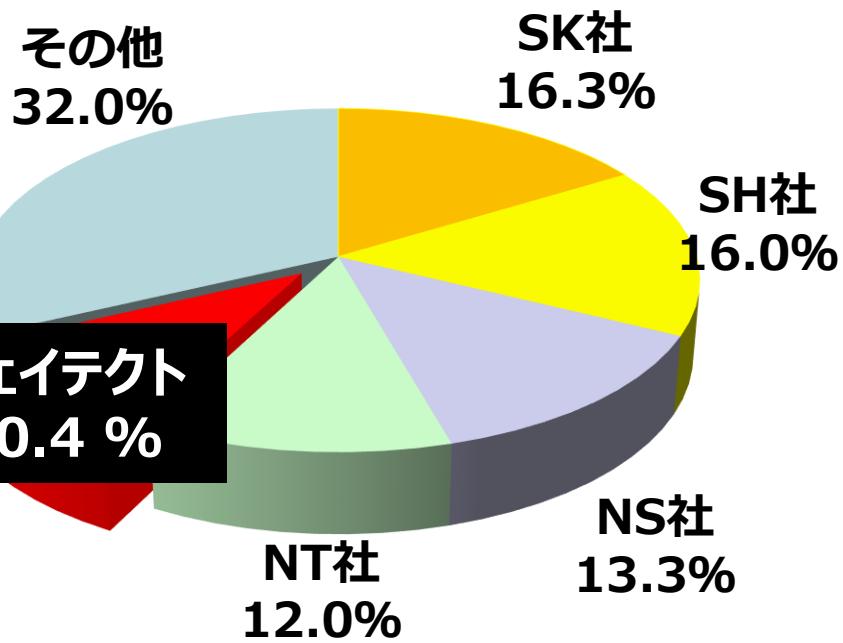
オイルシール



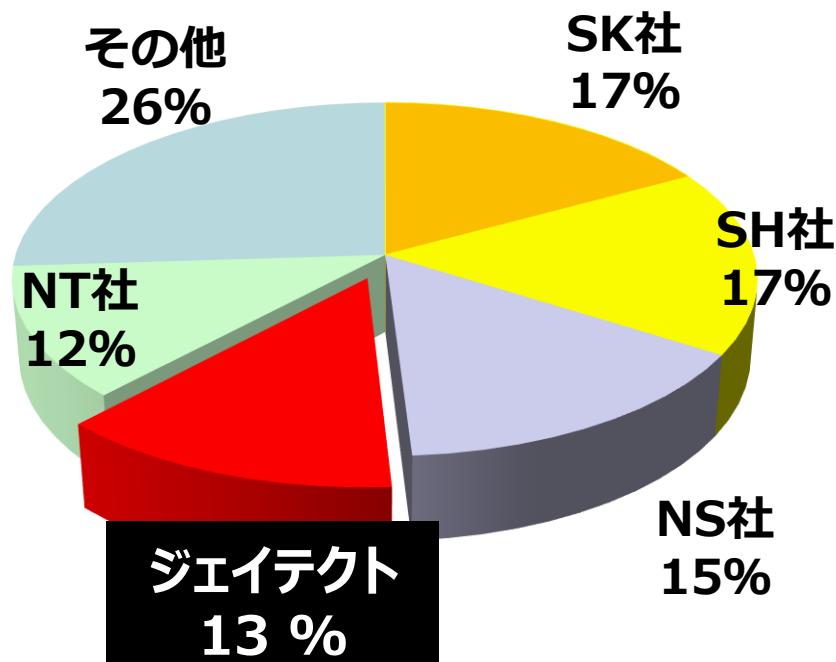
※LFTは当社の登録商標です。

■ ジェイテクトの軸受シェア

グローバルシェア



自動車用軸受シェア



出典：日経産業新聞（2017年6月）

出典：当社調べ（2013年）

■ 成長シナリオ 業種別戦略実現

◆ 農機・建機

- ・苛酷化する
使用条件下での
長寿命化



◆ 工作機械

- ・低昇温対応
(次世代ハイアビリー)
- ・低環境負荷、ユニット化技術
(スマートトルブ軸受)



大形軸受
技術開発センター

国分工場



開発・生産・サービス
体制強化

次世代ハイアビリー
シリーズの開発



※ハイアビリー(エクゼブ)は当社の登録商標です。

◆ 風力・鉄鋼

- ・高機能化
(長寿命、低トルク)
- ・モニタリング技術開発



◆ EXSEV(特殊環境)

- ・特殊環境向け強化
(半導体、医療機器等)



※EXSEV(エクゼブ)は当社の登録商標です。

TOYODA



工作機械・メカトロ事業

■ 工作機械・メカトロ事業の取り組み

JTEKT

Koyo

TOYODA

31

主な商品

研削盤



GE4i

No1

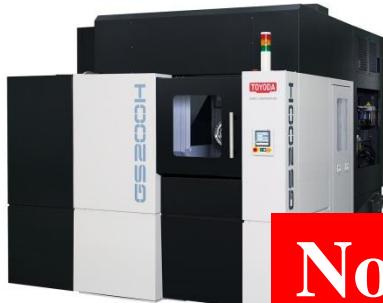
円筒研削盤

マシニングセンタ



FH1600SWi

ギヤスカイビングセンタ



No1

GS200H5

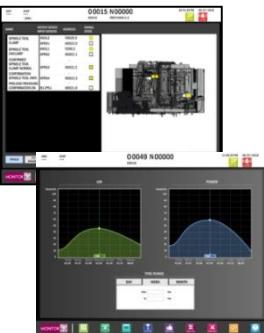
ギヤスカイビングセンタは当社の登録商標です。.

制御機器



TOYOPUC-Touch

IoE・スマートファクトリー



TOYOPUCは当社の登録商標です。.

■車両電動化への対応

ガソリンエンジンのダウンサイ징(HV/PHV)対応

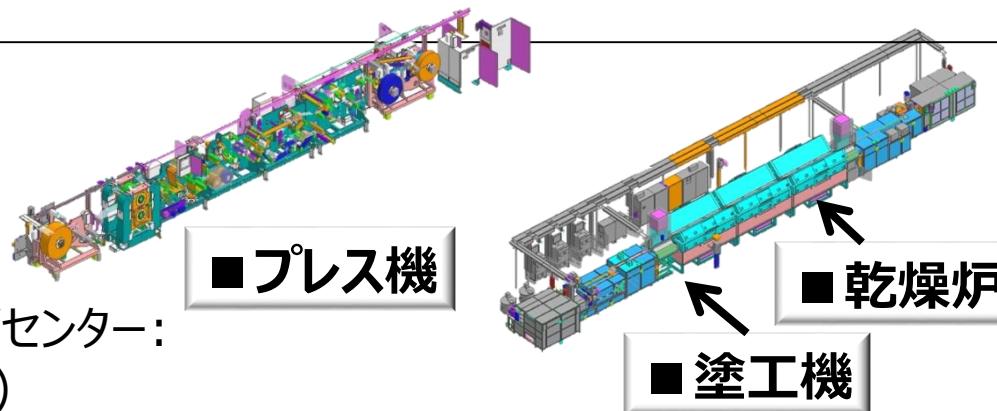
- ・TNGAエンジンへの対応
(国内/海外へ納入済み、2018年まで継続)
- ・ターボシャフト向け研削盤e300Gを納入

■e300G



EV化対応

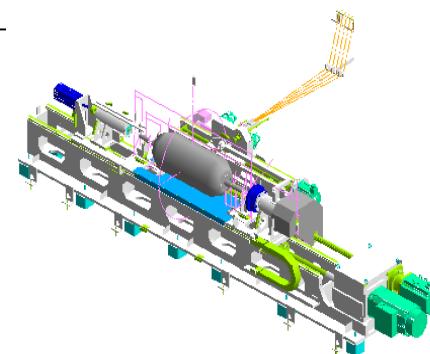
- ・リチウム電池用設備 量産機納入済み
 - ・混練機
 - ・塗工機
 - ・プレス機
 - ・乾燥機(光洋サーモシステム)
- ・自動車部品を想定したギアスカイビングセンター：
GS200H5を市場投入(2017年5月)



FCV化対応

- ・FCV用設備 量産機納入済み
 - ・FCタンク用 フィラメントワインディング機
 - ・塗工機
 - ・乾燥機 (光洋サーモシステム)

■FCタンク用
FW機



FW : フィラメントワインディング

■ ジェイテクトのIoTとスマートファクトリー

モノだけではなく人もつなげるからIoE



現場の困りごとを解決するIoT

データ・情報

IT
Information Technology

OT
Operational Technology
TPS

現場運営

IoT

現場とITの融合

3つのIoE

1. 品質のIoE :

製品品質の兆候管理ができる

2. 保全のIoE :

寿命・異常の兆候管理ができる

3. 生産のIoE :

人も含めた生産性向上ができる

JTEKT

ジェイテクト新規事業



アシストイメージ

■新規事業の取組み

新規事業開発商品第1弾



パワーアシストスーツ

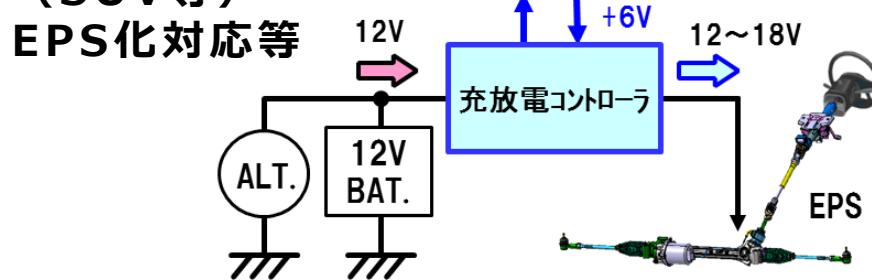
人の動きに調和するアシストスーツ
製造業をはじめ様々な業種の
作業者の腰の負担を軽減

同、第2弾



世界初
-40~85℃
対応

12V系大型乗用車
(SUV等)
EPS化対応等



リチウムイオンキャパシタ

冷却フリーで車載可能なキャパシタ
キャパシタ単体ビジネスおよび
当社電動部品の拡販に貢献

■ EV対応への考え方

EV化はビジネスチャンス。ニーズを先取りした製品開発・供給へ

- ・電力供給インフラの状況や電池等の要素技術開発、さらに各国政府、車両・部品メーカーの動向を見据え、積極的に対応

EV化による各事業オポチュニティ

[STG]

EPS販路拡大、数量増

[駆動]

E-AWD、電動ポンプ、
FCV用バルブ

[軸受]

小型・軽量化HUB

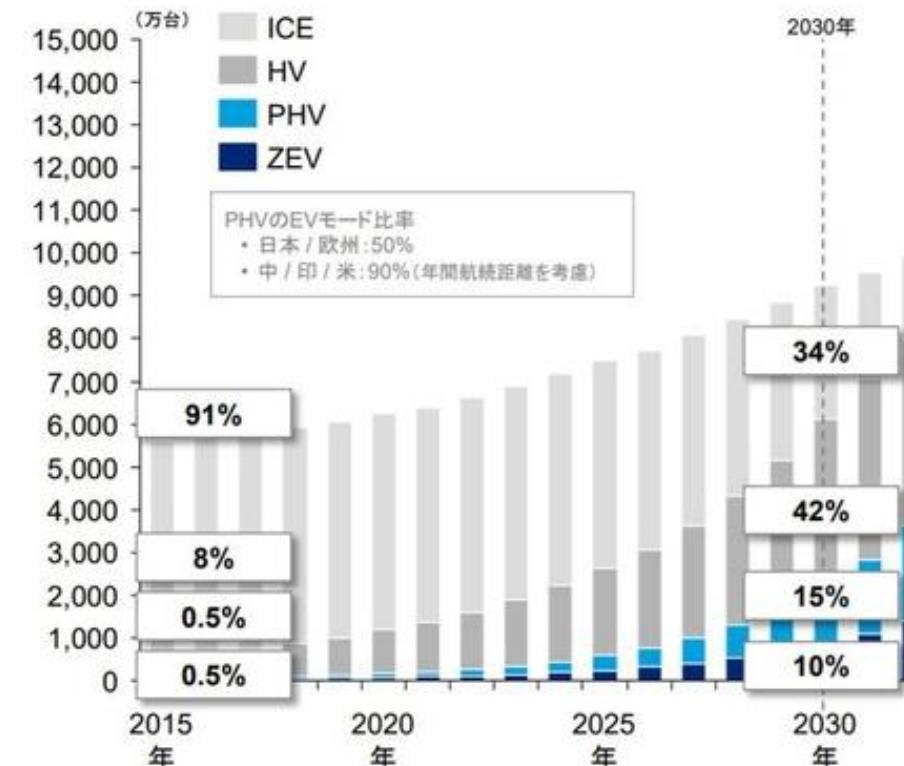
モータ用超高速・軽量軸受

[工作機械・メカトロ]

FC関係設備、Li電池用塗工機

[新規事業]

キャパシタ拡販ほか



(出展: デロイトトーマツコンサルティング 2017年10月)

1. ジエイテクトのご紹介

2. 各事業の成長戦略

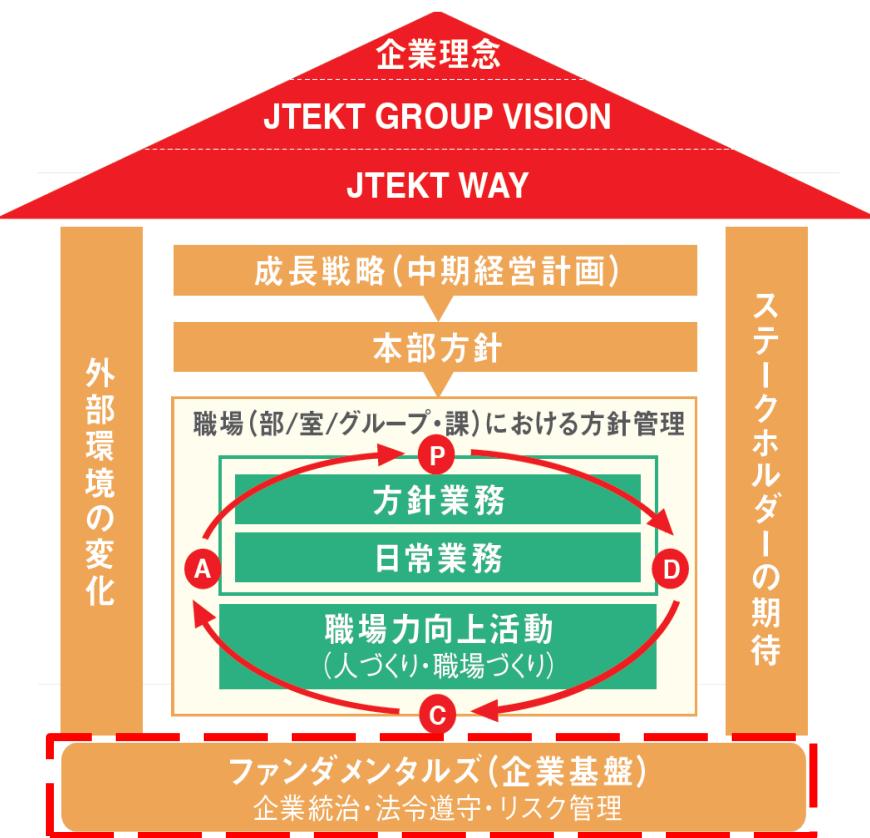
3. 企業価値向上に向けた取り組み

4. 株主還元方針

■マネジメントモデルの策定

企業価値の向上を着実に実現するための実践モデルを策定

マネジメントモデル



・目指す姿を共有し、
共通の価値観に基づき行動する

・成長戦略（中期経営計画）の
実現に向けて活動する

・磐石な企業基盤を構築・維持し、
外部環境の変化とステークホルダー
の期待に応えるべく行動する

■働き方改革

2025年クライシス (類を見ない超高齢化社会の到来)

- ◆ 今後10年間で、日本の人口は600万人～700万人減少
- ◆ 65歳以上の人団は3,500万人を突破 (人口の約3割)



働き方の高度化

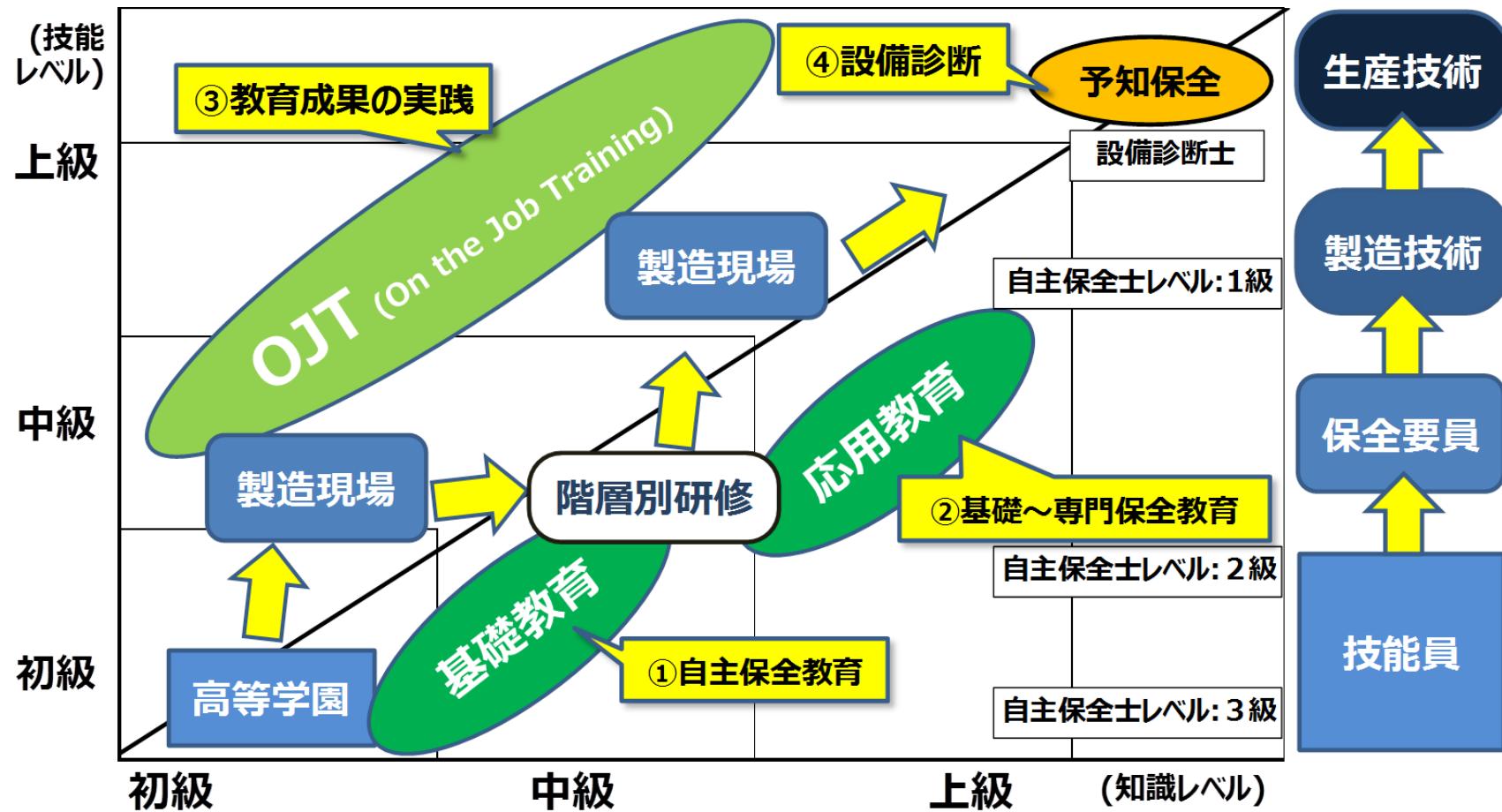
- ①学園プログラムの見直し
- ②技能員のポテンシャル向上
 - ・製造オペレーター ⇒ 保全要員
 - ・製技 ⇒ 生技 ⇒ 生技開発
- ③間接部門の効率アップ

ダイバーシティ促進

- ①育児・介護・障がい者・シニアの支援
- ②イクメン育成
- ③ICT拡大
(Intra Company Trainee)
- ④グローバル人事制度整備

■ 技能員の働き方高度化

新入社員受入れ(高等学園)以降、カリキュラムに沿った保全者育成



労働人口減少→製造ライン自動化・無人化→技能員の高度化

1. ジエイテクトのご紹介

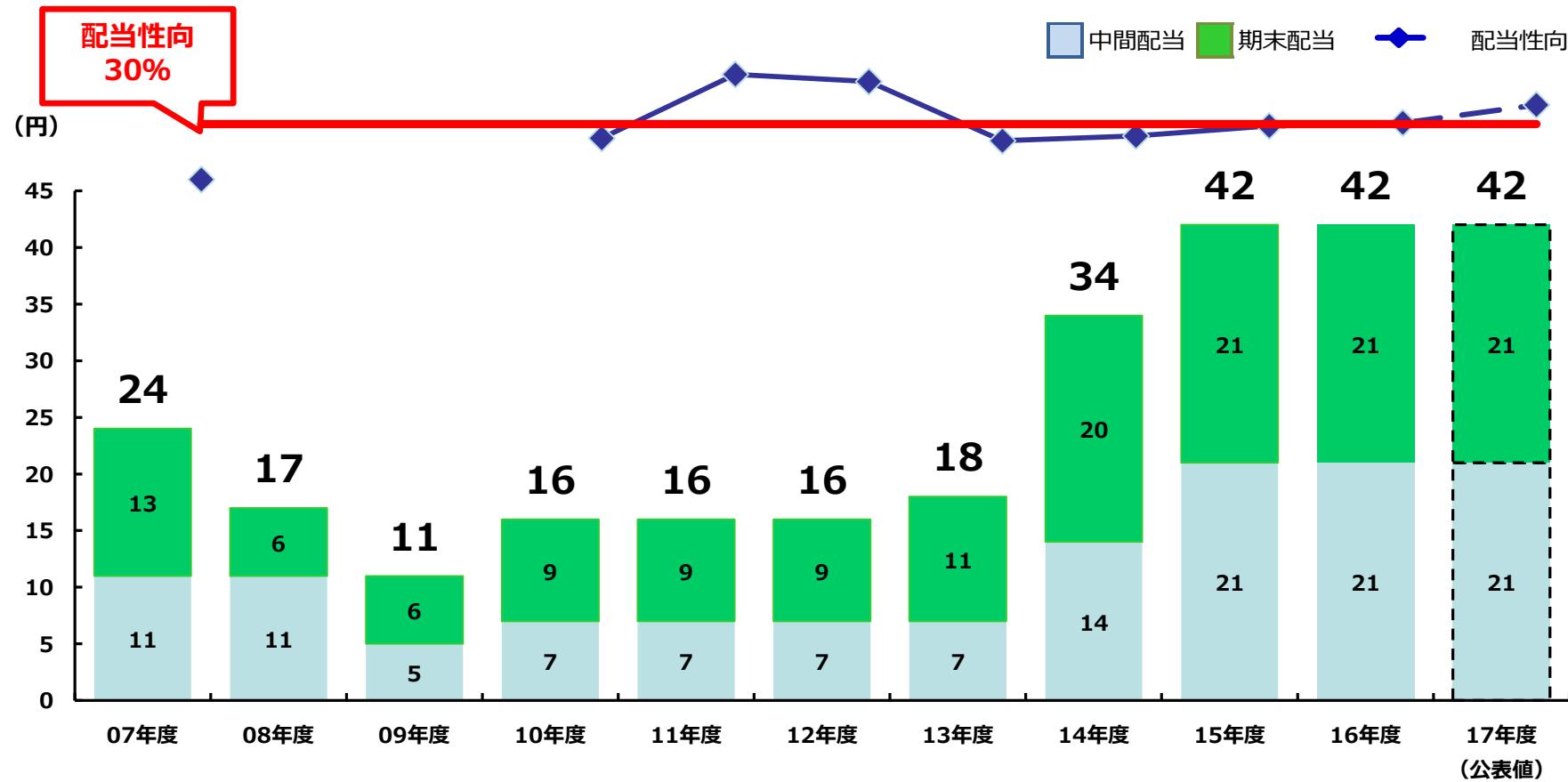
2. 各事業の成長戦略

3. 企業価値向上に向けた取り組み

4. 株主還元方針

■ 配当の考え方

中期経営計画の推進により更なる体質強化を実施
配当性向30%を目安に安定的な配当を目指します



■ 主な経営指標の推移

2017年度 特別資金需要に伴い、有利子負債が増加

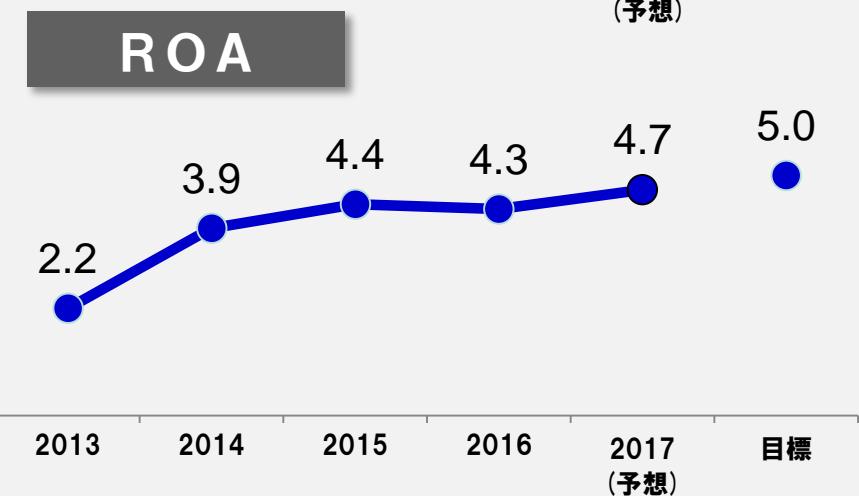
棚卸資産



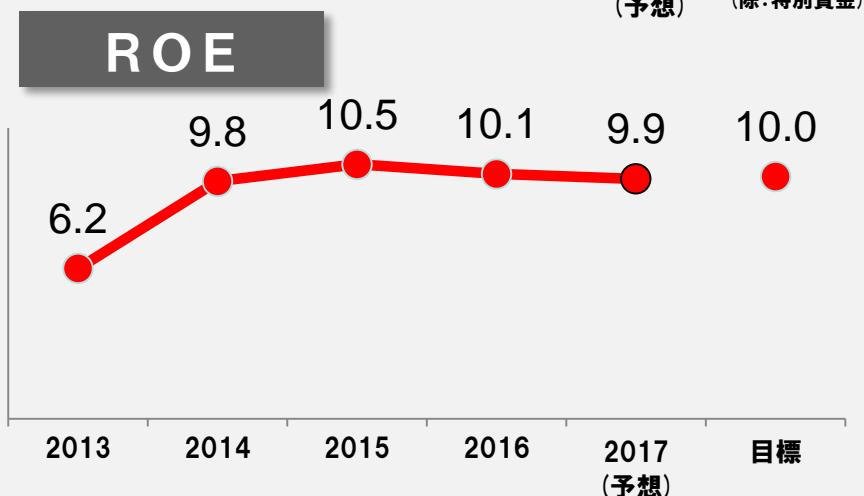
有利子負債



ROA



ROE



■ 事業経営の方針

安定的な成長を目指します！

ジェイテクトグループは、
4つの事業を軸として、グローバルに多様な
ビジネスを展開しています。

各事業では、数々のNo.1商品を生み出し、
ある部分で調子が悪くても、
他でカバーすることで全体としては、
「安定的な成長」を目指してまいります。



ご参加、ご清聴、誠にありがとうございました。